

輸送の安全に関する基本理念

豊橋鉄道グループは、公共交通事業を主体として地域と一体となって発展する企業グループを目指しております。

当社はその一員として、法令遵守の下、全社員が「安全が全てに優先する」との基本理念を認識し、お客様に安全・安心を提供することにより、地域から愛され信頼されるタクシー会社を目指してまいります。

平成29年4月1日

豊鉄タクシー株式会社
代表取締役社長 小川 健司

平成29年度運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

1 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 輸送の安全の確保は事業の根幹であり、最優先します。
- (2) 輸送の安全に関して、PDCA サイクルを回し、絶えず輸送の安全性向上に努めます。

2 輸送の安全に関する重点施策

- (1) 「輸送の安全こそ最重要」との認識の下、関係法令及び、安全管理規程を遵守します。
- (2) 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行なうよう努めます。
- (3) 輸送の安全に関する日々の業務を定期的に確認し、内部監査を行い、必要な場合には改善措置を講じます。
- (4) 報告連絡体制を整備し、安全輸送に関する情報を共有するよう努めます。
- (5) 指導教育の計画を策定し、確実に実施します。

3 輸送安全に関する目標及び当該目標の達成状況

平成 28 年度の事故発生状況

- | | |
|---------------------------|-----------------------------------------|
| (1) 有責事故発生件数 | 19 件 (前年 22 件) |
| 前年目標 18 件以下に抑える (未達成) | |
| (2) 人身事故件数 | 4 件 (前年 2 件) |
| 前年目標 ゼロとする (未達成) | |
| (3) 自動車事故報告規則第 2 条に該当する事故 | 0 件 (前年 0 件) |
| 前年目標 ゼロとする (達成) | |
| (4) 歩行者、自転車、バイクとの事故 | 2 件 (前年 1 件) |
| 前年目標 ゼロとする (未達成) | |
| (5) 自損事故・バック事故を抑止する | 自損事故 2 件 (前年 4 件)
バック事故 7 件 (前年 5 件) |
| (6) 疾病等に起因する事故を抑止する | 1 件 (前年 0 件) |

平成 29 年度 輸送の安全に関する目標

- (1) 有責事故の発生件数を前年発生数から 2 割削減 (16 件以下) する。
- (2) 人身事故の発生件数をゼロとする。
- (3) 自動車事故報告規則第 2 条に該当する事故をゼロとする。
- (4) 歩行者、自転車、バイクとの事故をゼロとする。
- (5) 交差点での事故・バック事故を抑止する。
- (6) 疾病等に起因する事故の発生を抑止する。

4 目標を達成するための取り組み（会議・指導教育・研修の計画）

【Ⅰ 安全に関する会議の開催】

- (1) 管理者会議・安全衛生会議を毎月開催、班長会議を年1回開催、班会議を毎月開催
- (2) 事故苦情審議委員会を毎月開催
- (3) コミュニティバス運転手を対象にした研修会を開催
- (4) 豊鉄グループ事故防止委員会への参加
- (5) 外部の事故防止セミナーへの参加

【Ⅱ 安全意識の高揚・情報の共有化】

- (1) 国土交通省の重大事故事例の掲示による情報共有
- (2) 車内に事故防止標語を掲示、運輸安全マネジメントカード配布による安全意識の高揚
- (3) 運転記録証明書の取得（SDカード）【毎年】
- (4) ヒヤリ・ハット情報を収集後、画像等を用いての安全教育を実施

【Ⅲ 教育・訓練の実施】

- (1) 事故惹起者を対象に外部講師を招いての講習会開催 年2回
- (2) 事故惹起者への横乗り指導と交通誘導員を実施
- (3) 重大事故の訓練の実施
- (4) 新人運転士に対する再教育の実施
- (5) ユニバーサルドライバー研修会への参加

【Ⅳ 健康管理体制の強化】

- (1) 対面点呼により健康状態を確実に把握

- (2) 健康診断実施後の確実なフォロー
- (3) 人間ドック・ミニドックの受診の奨励
- (4) 健康管理セミナーへの参加と外部講師を招いて健康管理講習会を開催
- (5) SAS自己チェックアンケートの実施及びSAS精密検査の受診奨励

【V 内部監査と是正・改善】

- (1) 経営トップの営業所巡回を年4回行い、問題点の把握と改善
- (2) 名古屋鉄道及び豊橋鉄道による内部監査後の是正と改善

【VI輸送の安全に関する投資】

- (1) 冬季スタッドレスタイヤの更新
- (2) ユニバーサルデザインタクシーの導入（検討）